

赤間っ子だより

城山学園重点目標 挑戦する楽しさを実感する子供の育成

校長 内藤 博愛

挑戦がうまくいかなかった時って

本年度、城山学園では「挑戦する楽しさ」をキーワードに教育活動を展開しています。

挑戦の中身は「赤間っ子検定に合格する」「漢字50問テストで満点をとる」「リコーダーのテストで合格する」「スポーツの習い事をしているが、レギュラーになる」などの結果がはっきりしているものだけではなく「もくもく掃除をがんばる」「立ち止まって挨拶をする」「一日一回へ手をあげる」など日々の過ごし方についての挑戦もあります。

ある時、他校の先生方と「挑戦」というテーマで話をした時に、特に「結果がはっきりしているもの」についての立ち止まり方について考えさせられる視点がありましたので、紹介します。

=====

- 「挑戦してうまくいった」という成功体験は分かりやすい。
- この成功体験は「やればできる自分」への自信をもつことにつながり、次なる挑戦をする原動力となるからだ。
- けれど、挑戦してうまくいかなかった場合はどうするのか。特に結果のはっきりしているものについて、次への意欲にどうつなげるのか。

=====

実は、上のような場合の対応のヒントが、福岡県教育委員会が出している「鍛ほめ福岡メソッド実践の手引き」に掲載されています。その概要を紹介します。

子どものチャレンジがうまくいかなかったとき、その原因を「やっぱりあなたにはできなかったね」などと本人の能力に原因を求めることは厳禁です。

このような言葉は「どうせ自分は頑張ってもうまくいかない」と努力しようとする気持ちを奪ってしまうからです。

うまくいかなかった場合は、「けれど、ここは確実に力がついている」と本人の成長を認めたり、「努力が少し足りなかったかもね」と努力の仕方に原因を求め、一緒に考えたりすることが大切です。

子どもは「失敗したけど成長できたところはある」「やり方をかえれば、今度はうまくいくかもしれない」と期待感を高め、チャレンジする気持ちを持ち続けることができます。

新しい一年がはじまりました。

今年も子ども達がたくさんのチャレンジを通して新しい自分に出会える一年となるよう、職員一同子ども達と関わっていきます。

◆1・2月主な行事予定 ◆

- 1月 14日(火) 15日(水) 合同挨拶運動(城山中生徒会来校) 24日(金) 市学力テスト
24日(金)~30日(木) 給食感謝週間
- 2月 5日(水) 来入児入学説明会 5日(水)~13日(木) 家庭学習チャレンジウィーク
6日(木) 城山中学校中学説明会 10日(月) 学校の日